

以下のデータは、英辞郎 Ver. 153 で追加されたデータのうちの一部です。これらのサンプルデータにおいては、漢字の読み仮名が削除されています。

コンピューター／インターネット

- at a user's discretion : [機能の変更などが] ユーザーの設定次第で
- brute-force crack : [パスワード・暗号鍵などの] ブルートフォース [総当たり攻撃による] クラック
- edit conflict : 編集の競合 [コンフリクト] ◆複数の人が、同時に同じデータを更新しようとしている場合など。
- fixed-width font : 等幅 [固定幅] フォント
- followee {名} : フォロイー◆ツイッターなどでフォローされている人◆【対】 follower
- impossible bug : あり得ないバグ◆「そんな現象が起きるわけない」と思われるような、不可解な不具合。
- packet sniffing : パケット・スニフing、パケット盗聴◆ネットワーク上を流れるパケットの監視 (傍受)・解析。◆日本語では「パケット・スニファing」と呼ばれることもある。これは packet sniffer + -ing に基づく和製英語。packet capture (パケット・キャプチャー)、packet capturing (パケット・キャプチャing) のような表現からの類推による造語だと思われる。英語としては、sniffer は名詞なので、本来そこに-ing が付くことはない。
- unreproducible bug : 再現できない [性のない] バグ
- unshift {他動} : ~をアンシフトする◆配列などの既存要素の位置を後方にずらして、先頭に新しい要素を追加すること。◆日本語では、訳さずに“unshift する”と表記されることも多い。◆【関連語】 prepend

医学

- adrenal medulla hyperplasia : 副腎髄質過形成
- allergic shiner : 目の下にできるくま
- calcified aorta : 石灰化された大動脈、大動脈石灰化
- cytoreductive effect : 腫瘍縮小効果
- extraluminal growth : 管外性発育◆【対】 intraluminal growth
- glycemic {形} : 血糖 (症) の [に関する]
- hyperdense area : 高吸収域◆X線吸収率の高い領域
- idiopathic gastric rupture : 特発性胃破裂
- loss of subcutaneous adipose tissue : 皮下脂肪組織の減少
- preprandial administration : 食前投与
- sinus congestion : 鼻詰まり
- six-day interval ending on the day of ovulation : 排卵日前の6日間

- somatosensory response : 体性感覚反応
- swallowing pressure : 嚥下圧
- tornado fit : 回転性目まい発作

その他

- about to appear on the market : 《be ~》〔新商品・新技術が〕市場に間もなく登場する
- all the way to Plan Z : プラン Z まで◆言葉のあやとして、Plan A (第 1 の計画)、Plan B (第 2 の計画) …という表現を発展させたもの。「メインの計画、それが駄目な場合の予備の計画、それも駄目な場合の予備の予備…」というように代替手段が何重にも準備され、用意周到である様子。あるいは何度も計画を変更したが、どれもうまくいかない様子。◆Plan は、plan と表記されることもある。
- all too convenient : 《be ~》あまりにも都合が良過ぎる◆とても偶然とは思えず、作為や不正な工作があると感じさせる様子。
- alnico magnet : アルニコ磁石◆アルミニウム (Al)、ニッケル (Ni)、コバルト (Co) を主成分として鑄造された磁石
- anastigmat {名} : 《光学》アナスティグマート、アナステグマート◆球面収差、コマ収差、像面湾曲収差、非点収差、歪曲収差の 5 収差を全て補正したレンズ
- annoying as shit : 〈卑俗〉めちゃくちゃうっとうしい、くそうっとうしい◆shit は下品な言葉。
- ardent proponent : 情熱的に訴える [提唱する] 人、熱烈な支持者◆思想・権利・自由などについて。
- art installation : アート・インスタレーション◆芸術作品とそれらが設置された空間全体を一つの作品と見なす芸術的表現方法
- ashamed of being bullied : 《be ~》いじめられていることを恥ずかしく思う◆悪いのは加害者・傍観者の側なのに、当事者の心理として「いじめを受けているのは恥ずかしい」「人に知られたくない」と感じる事。
- at a close-out price : 〈米話〉〔商品が〕在庫一掃セール価格で [にて]
- auto-tracking {名} : オートトラッキング [自動追尾] 機能付きの [を備えた] ◆カメラなどが、移動する物体を自動的に認識して追尾 (追跡) する機能
- avoid drama : 〈話〉〔人間関係などにおいて〕いざこざを避ける、〔いざこざ・感情的な爆発などの〕修羅場を避ける
- away fan : 《an ~》アウェーファン、アウェイファン◆プロスポーツ試合で遠征チームを応援するファン
- barred from the restaurant : 《be ~》〔問題を起こした客・歓迎されない客などが〕レストランで出入り禁止になる、レストランから出禁 [出入り禁止] を食らう

■barrel-aged {形} : たる熟成の、たる(の中)で熟成させた◆酒などについて。

■baubiology {名} : バウビオロジー、建築生態[生物]学、建築における環境共生論◆環境や健康に配慮した住まいづくりを追求する学問◆【語源】ドイツ語 bau(建築) + bio(生命) + -logy(学問)

■beauty aid : 《a ~》[化粧品などの]美容用品

■bit rot : ビット腐敗◆記録媒体から情報を読み出せなくなる事

■blatant lie : 露骨な[厚顔無恥な・しらじらしい・あからさまな]うそ◆うそであることが明らかで、しかも内容・態度がひどい。

■brand whore : <俗・通例軽蔑的>(全身)ブランド女[男]、ブランド品に身を包んだ[で身を固めた]浅ましい人、ブランド信者[崇拜者・至上主義者]◆やたらと高価なブランド品を身に着ける人。コストパフォーマンスの良い選択肢が他にあっても、ブランドにこだわる人。◆whoreの原義は「売春婦」。(name-)brand whoreという表現は、男性についても使われる。

■breakfast rush : [飲食店などの]朝食時間帯の混雑、朝食のピークタイム、朝の混み合う時間帯◆直前に冠詞のthe(またはその店を指すtheirなど)が置かれることが多い。

■broket {名} : <話>ブロケット◆左側と右側のブラケット記号2個のうち一方しか存在しない状態のブラケット記号◆【語源】broken + bracket

■brutal suppression : 容赦ない鎮圧[弾圧]◆例えば小規模な反乱・抗議運動などを抑え込むために、機関銃や戦車で攻撃する場合。

■burger on its own : <話>単品の(ハン)バーガー、(ハン)バーガー単品◆ファストフード店などの商品について。「セットメニュー(combo)の一部ではない」という意味。

■burn in hell : 地獄で[の]火に焼かれる◆しばしば命令文として使われる(罵りの言葉)。

■cahoots {名} : <俗>[特に不正なことをするための]共謀、結託◆【参考】in cahoots

■call oneself a foodie : <話>自分をグルメ[食べ物マニア]と呼ぶ、グルメと自称する、自称グルメである

■can happen at a moment's notice : 急に発生することがある◆前兆のない問題など。

■canvas chair : キャンバス・チェア◆キャンバス地の椅子

■captioner {名} : 字幕入力者、字幕化する人[装置]、キャプションナー◆聴覚障害者などの利用を念頭に、音声を文字化する。

■car buff : <話>カー[自動車]マニア◆【参考】buff

■career-ending injury : [スポーツ選手などの]引退の原因となる[選手生命を終わらせる]負傷[大けが]

■careful not to go too far : 《be ~》[主語は自分の言動などが]度を超さない[常識のレベルを超えない]ように慎重になっている

■cash for work : キャッシュ・フォー・ワーク、労働対価による支援◆自然災害などの被災地において、被災者に復旧・復興のための仕事をしてもらい、

その対価として現金を支給し、被災者の生活を支援するプログラム。

■cash-for-gold store : 金買い取りの店◆装身具などの金製品を現金で買い取る。

■claircognizance {名} : 透知力◆知らないはずのことが分かってしまう能力

■clockwork precision : 時計のような正確さ [に正確なこと] ◆活動・行動に1秒の狂いもない場合など。

■cocky smile : 〈話〉傲慢な [自信満々の・人をばかにしたような] 笑み◆しばしば「自信過剰で不愉快」というニュアンスを持つ。

■collaborative divorce : 弁護士を交えた [互いに弁護士を立てた] 協議離婚◆当事者間の直接の話し合いだけでは解決できないが、訴訟などによって正面から争いたくない場合の選択肢の一つ。当事者双方が自分の弁護士を選び、弁護士を通して訴訟外での穏やかな交渉を行い、双方が納得できる形での合意を目指す。

■countersinking {名} : 皿もみ、皿座ぐり◆材料の表面に皿ねじの頭を沈み込ませるために、あらかじめ開けておく円すい形の穴

■credit card hangover : 〈話・比喩的〉クレジットカードを使い過ぎた後 [翌朝] の頭痛 [苦しみ] ◆二日酔い(hangover)になぞらえた表現。飲酒中はいい気分でも、飲み過ぎると後で気持ちが悪くなる。同様に、買い物中は楽しくても、後から支払いの問題・罪悪感などで頭が痛くなること。

■criminalize homelessness : ホームレスを犯罪化する◆法律や条例を作って、施しを請うこと・公共の場所で寝ることなどを禁止すること。しばしば「問題解決にならない・人道的でない」と批判される。

■cut-off jeans : カットオフ・ジーンズ◆裾を短く切ったジーンズ

■death stare : 〈話〉(非常に) 怖い目でにらみ付けること、殺意のこもった目◆怒った人が、怒らせた人をにらむような場合。

■definite don't : 〈話〉決して [絶対に] してはいけないこと◆通例、複数形で使われる(definite don'ts)。

■deli counter : 〈話〉デリ(カテッセン)のカウンター◆加工肉食品・チーズ・総菜などの陳列・販売コーナー(ガラスケースのカウンターなど)。注文に応じて、店員が商品の切り売り・量り売り、サンドイッチやサラダなどの調製を行う。

■desander {名} : 砂除去装置、デサンダー◆泥水に含まれる砂を分離・除去する装置

■die-cut {名} : ダイカット、打ち抜き加工◆ダイ(抜き型)を用いて板材をさまざまな形状に打ち抜くこと

■digital disruption : デジタル・ディスラプション◆最新のデジタル技術を活用した商品・サービス・システムが登場することによって、旧式のもの(を扱う市場)が破壊されること◆【参考】disrupt ; disruptor

■dinner rush : ディナータイムの混雑 [書き入れ時]、夕食のピークタイム、晩の混み合う時間帯◆直前に冠詞のthe(またはその店を指すtheirなど)が置かれることが多い。

- disaster-in-waiting {名} : 待ち構えている [すぐ起きるであろう] 災害、いつ災害が起きてもおかしくない状態
- do a sting on : 〈話〉 [犯罪を行う可能性のある人など] に対しておとり捜査を行う
- do-not-deliver list {1} : 宅配禁止 (の対象者) リスト◆宅配ピザなどの店が持つ一種のブラックリスト。何らかの理由 (過去のトラブルなど) により「リストに載っている場所への配達を行わない・受け付けない」というもの。
- do-not-deliver list {2} : 配布 [投函] 禁止リスト◆ポスティング業者などが持つリスト。「その家には広告のチラシを投函してはいけない」というもの。住人が「入れないでほしい」と申し出た場合など。
- duh moment : 〈話〉 はたと気付く瞬間、「考えてみれば当たり前だ」と悟る [気付く] 瞬間◆この duh は「なぜそんな当たり前のことが分からないのか・分からなかったのか」という (自分自身への) 突っ込み。
- escalate into drama : 〈話〉 [感情的な爆発のような] 大騒ぎ [修羅場] に発展する
- ethno-linguistic {形-1} : 民族言語学の [的な] ◆この意味では、ethnolinguistic と表記されることが多い。◆【関連語】ethnolinguistics
- ethno-linguistic group : 民族言語グループ◆民族・言語が同じ人々。同一言語を持つ民族グループ。
- explicit song : 際どい [どぎつい・穏やかでない] (歌詞の) 曲◆性・暴力・憎悪・差別・薬物乱用などについて、露骨な表現やタブー語が使われている歌。
- fairy skirt : フェアリースカート◆妖精の扮装をする場合などに使われる。一般にフワフワ・キラキラした軽い素材で作られる。
- fast-buck artist : 〈米俗〉手っ取り早く金を稼ぐのがうまい人◆「詐欺で」、または「不正手段で」の意味が込められる場合もある。
- full-motion {形} : フルモーションの◆動画の画面表示速度がテレビと同等 (毎秒 30 フレーム) 以上であること。
- fuser {名} : 定着器◆プリンター内部において、用紙に転写されたトナーを融着させるための装置
- generativity {名} : 次世代育成能力◆アメリカの発達心理学者 Erik Erikson (1902~1994 年) が generate (生み出す) という動詞から作りだした名詞。人間の精神的発達を 8 段階に分けて考察し、その 7 段階目は、自分だけへの関心から次世代への関与に移り変わる段階であるとしている。すなわち、次世代のために貢献できることを考えて、自分が身に付けた技術などを次世代に伝える段階。
- go fabless : ファブレス化する◆【直訳】工場を持たなくなる◆企業が商品の企画・設計・開発のみを行い、製造を他社に委託すること。
- gravitational-wave astronomy : 《天文》重力波天文学◆観測天文学の一分野。重力波観測を通して宇宙を見る。重力波の直接検出成功 (2015 年) 以前には、重力波の検出自体が大きな目標だった。
- half-assed apology : 〈米・卑俗〉誠意のない [口先だけの・心のこもっていない] 謝罪◆ass はタブー語に近い言葉。

- hand-hold {自他動} : [~を] 手持ち撮影する◆三脚を使わずに、カメラを手で持って撮影すること
- high-dollar {形} : <米話> 高額な
- home fan : 《a ~》ホームファン◆プロスポーツ試合で本拠地チームを応援するファン
- home veggie garden : <話> 家庭菜園◆【同】home vegetable garden
- home-bound education : 《心理学》訪問教育◆教師が(病気などの理由で登校できない)生徒の自宅を訪問して行う教育
- hotshot company {1} : <米カナダ・俗> 特急トラック便(専門)の運送会社◆【参考】hot shot
- hotshot company {2} : <主に米話> [勢いのある] 一流 [やり手] 企業
- just another day at work : 《be ~》職場でのありきたりの1日にすぎない、職場[この職業]では日常茶飯事[よくあること]である◆一般人から見ると珍しい出来事などについて。
- keep one's legs shut : <話> [女性などが] 尻軽な行為を慎む◆【直訳】両脚を閉じておく ⇒ 安易な性行為を避ける
- keep ~ secret for good reason : 《keep ~ secret for (a) good reason》もっともな理由があつて~(のこと)を秘密にしておく◆具体的な「ある理由」が含意される場合、good reasonの直前に冠詞のaが置かれる。「正当な理由があつて」という抽象的な表現では、for good reasonの形が使われる。
- kill with a glance : ちらっと見るにより殺す、視線で人を殺す◆伝説上の怪物などについて。「視線に超自然的な力があつて、その怪物がちらっと見るだけで、見られた者は死んでしまう」という意味。
- lengthiness {名} : 長(つ)たらしさ
- let a murderer go free : 殺人犯を罪に問わず釈放する◆証拠不十分の場合や、何らかの特別な事情がある場合。
- like-like {他動} : <俗> (人)が好きで好きでたまらない、(人)にメロメロである[恋愛感情を抱いている]◆子どもっぽい表現。3人称単数現在形は、通例like-likes。
- live up to the hype : 大騒ぎするだけのことはある、評判どおりの素晴らしさである◆派手に宣伝されている製品・大評判の物事などが、実際に良い。
- mammalogist {名} : 哺乳類学者
- marine transgression : 海水面の上昇◆陸地の沈降、または海水面の上昇によって海が陸上に入り込んでくる現象。◆【参考】marine regression
- media fanfare : メディアで大々的に話題にされる[取り上げられる]こと、マスコミのお祭り騒ぎ、メディアの鳴り物入り◆めでたいと考えられるニュースなどについて。
- mess with the wrong person : 絡んではいけない相手に絡む、まずい相手にちょっかいを出す、絡む相手を間違える◆怒らせると怖い人に、そうとは知らずけんかを売る場合など。
- meth mouth : <話> 覚醒剤を使い過ぎて歯(や歯茎)がぼろぼろになること、メス・マウス◆副作用で口の中が乾くことや、薬物乱用に伴う生活の乱れ(栄

養の偏り・歯磨きをしないことなど)の結果だという。

■must-try {形} : 試す価値 [必要] がある、外せない◆飲食物・レストラン・製品・余暇の活動などについて。「ぜひ試すべきだ・お薦め」という意味。

■nail it : 〈話〉 [特定の行為・作業などを] 完璧 [見事] にやってのける、 [主語のアクションなどが] (完璧に) 決まる

■nasty virus : たちの悪いウイルス◆病原体、またはコンピューターウイルス。

■non-answer answer : 答えになっていない答え◆質問にきちんと答えず、はぐらかす場合など。◆【対】straight answer

■non-constructive feedback : 非建設的な [建設的でない] 意見 [感想・フィードバック] ◆他人の仕事・作品・提案などに対するもの。どこをどう改善してほしいのか明らかにせず、人格攻撃に終始する場合など。「具体的な内容に触れず、絶賛の言葉を並べただけの感想」も非建設的とされることがある。

■non-kosher food : 《ユダヤ教》不浄な食べ物、コーシェルでない食品◆食材そのものや製造法・調理法に関連して、宗教上の理由で「人が食べることは許されない」とされるもの。豚肉・エビなど。◆【対】kosher food

■nosebleed section : 〈米俗〉 [野球場・競技場・劇場・コンサートホールなどの] 最上階 [最上段] の観客席◆【参考】nosebleed

■nuh-uh {間投} : 〈話〉いいえ、ううん、駄目、嫌だよん◆【類】uh-uh ; nah

■nutritionless {形} : 栄養のない

■open-air prison : 野外刑務所◆人々が自由に出入りできない区域

■optical logic gate : 光論理ゲート◆電気の代わりに光を使って構築される論理ゲート。

■out-of-control customer : 手に負えない客◆店内で大騒ぎする人など。

■past saving : 《be ~》 [極めて深刻な事態などについて] もう救いようがない、もはや手の施しようがない、手遅れである

■poignant question : 鋭い [核心に迫る・心に突き刺さる・重要な意味を持つ] 質問◆多くの場合「本質を突いている」という肯定的ニュアンスを持つ。尋ねられる側から見ると「動揺させる・答えにくい」という意味合いを持つことがある。

■political minefield : 〈比喩的〉政治的な地雷原、多くの難しい問題が潜む政治的状況 [話題] ◆一歩間違えれば猛反発を受けたり、政治生命を失ったりする可能性がある。

■psophometer {名} : 雑音計◆電子回路の雑音を測定する装置

■queue time : キュータイム◆作業を開始できるようになるまでの待ち時間。または、列車や飲食店の座席に座れるようになるまでの待ち時間。

■ride-sourcing {名} : ライドソーシング◆携帯電話などの位置情報を使って、空席のある自動車 (他人を乗せることで収入を得たい運転手) と、それをタクシー代わりに使いたい人を結び付ける仲介ビジネス。エンドユーザーから見ると、格安で待ち時間の短い交通手段が提供される。◆【語源】ride (乗車) + sourcing (調達)

■salvage something from the situation : その状況から何らかの成果を引き

出す◆物事がうまくいかない場合において。完全な失敗・無駄にならないように、少しでもそこから何か収穫を得ようとする事。

■second-guess one's answer : 自分の解答について疑念を抱く◆試験の答案などにおいて、一旦答えを出してから「本当にこれで合っているのだろうか」と悩む(考え過ぎる)事。

■self-aware machine : 自我[自己認識]を持つ機械[マシン]◆人工知能など。

■self-fusing silicone tape : 自己融着シリコーン・テープ◆配管修理、絶縁処理などに使われる。

■self-identify {自動} : 自己同一性[アイデンティティー]を持つ◆【用法】通例asを伴う。◆同じ意味で単にidentifyが使われることも多い。◆【同】identify oneself

■self-weight {名} : 自重◆ある物の本体の重さ。◆【参考】live load ; dynamic load

■serial shopper : 〈話〉買い物[ショッピング]のはしごをする人、買い物魔◆serial killer(連続殺人犯)などに引っ掛けた、おどけた表現。「浪費癖・買い物依存症」のようなネガティブな面が含意されることもある。

■service bolt : 仮(締め)ボルト◆鉄骨を組み立てる作業で使用される仮締め用のボルト◆【参考】deadbolt

■shero {名} : 〈俗〉女性の英雄◆【語源】she + hero◆【複】sheroes

■shopping binge : 〈話〉買い物(を)しまくること、爆買い◆【類】shopping spree

■shot to pieces {1} : 《be ~》撃たれてばらばらになる、木っ端みじんになる◆【参考】to pieces

■shot to pieces {2} : 《be ~》〈話・比喩的〉ぼろぼろ[ずたずた]になる[である]、[計画などが]完全に駄目[めちゃくちゃ]になる、[事業などが]崩壊[空中分解]する、[信用などが]失墜する■・My confidence was shot to pieces. 私は、完全に自信を失いました。

■soon-to-be ex : 〈話〉もうすぐ別れる予定の伴侶[恋人]

■steel structure erection : 鉄骨建方◆鉄骨を組み立てる作業

■stroke survivor : 脳卒中生還者◆脳卒中を起こしたが死なずに済んだ人

■taste-off {1-名} : 〈話〉味比べ(のイベント)、味(の)対決◆特定の種類の食品などについて。-offは「対決・コンテスト」を表す。◆【参考】cook-off

■team camaraderie : チームの連帯感[仲間意識]、チーム(メイト)の絆◆友情・信頼など。スポーツのチーム、企業内のチームなどについて。

■tech-illiterate {形} : 〈否定的〉テクノロジーに疎い、技術弱者の◆コンピューターなどを使いこなせないこと。観点によっては失礼な表現。

■tidy sum : 〈話〉かなりの[相当な]金額(の金)、大金

■useful idiot : 〈軽蔑的〉役に立つばか、ばかだが役立つ人◆策略家などから見て「尊敬に値しないが、利用できる人間」。行動力・影響力を持っていて、政治上の作戦の道具として利用できる相手。批判的思考力を持たず、自分が利用されていることに気付かないような人。

■video assistant referee : ビデオアシスタントレフェリー◆試合や競技でビデオ判定を担当する副審判員

■whataboutism {名} : おまえだって論法、そっちこそどうなんだ論法◆誰かが自分を批判してきた時に、その相手の(不適切な)行為を取り上げて、“What about ... ?”(おまえの~という行為についてはどうなんだ?)と問うことによって、「おまえは、他人のことをとやかく言える立場じゃないだろ」、「おまえは偽善者だ」などの意味を暗示して、自分への批判をかわすこと。

■whisper conspiratorially : 秘密めかしてささやく◆ひそひそ声で「ここだけの話ですが実は…」などと言う場合。

■word ~ poorly : ~を不適切な言葉で表現する、~について言い方が悪い [まづい] ◆言っている内容は正しいかもしれないが、表現に問題がある場合。

■xenoscience {名} : 〈比較的まれ〉地球外生物(科)学◆主に SF の用語。
◆【類】astrobiology

略語

■AAC : =abdominal aorta coarctation●《病理》腹部大動脈縮窄(症)

■AHA : =antiheart antibody●抗心臓抗体

■AWD : =all-wheel drive●《車》全輪[総輪]駆動

■CCP : =chronic calcifying pancreatitis●慢性石灰化膵炎

■CCR : =constant-current regulator●定電流レギュレーター

■CCW : =Convention on Certain Conventional Weapons●特定通常兵器使用禁止制限条約

■GET : =cognitive evaluation theory●《心理学》認知的評価理論

■CIST : =cumulative interceptive supportive therapy●《歯科》累積的防御療法

■CVPS : =chronic vulvar pain syndrome●《病理》慢性外陰(部)痛症候群

■DMI : =Dipole Mode Index●《気象》ダイポールモード指数

■DNR list : =do-not-rent list●利用拒否対象者(の)リスト◆レンタカー店・ホテルなどのブラックリスト。過去に問題を起こし、以降「ご利用お断り」になっている客の一覧表。

■DTICH : =delayed traumatic intracerebral hematoma●遅発性外傷性脳内血腫

■EIL : =economic injury level●経済的被害許容水準

■IW : =irregular warfare●非正規[不正規]戦◆戦争の形態。不可算。

■LAT : =living apart together●別居式共同生活◆密接な関係にあるカップルが別居しながら共同生活を送ること

■LTA gas : =lighter-than-air gas●〔比重が〕空気より軽い気体◆アンモニア(ammonia)、水素(hydrogen)、ヘリウム(helium)など

■MHC : =meaningful human control●〔機械・ロボットなどに対する〕人に

よる有意の制御

■OEO conversion : =optical-electrical-optical conversion●光・電気・光変換◆光信号と電気信号の往復変換。

■OOS : =out of specification●〔製品の品質試験の結果が〕規格外で、仕様外で

■OPC : =organ procurement coordinator●ドナー移植コーディネーター◆臓器提供者とその家族をケアする人

■SRHR : =sexual and reproductive health and rights●性と生殖に関する健康と権利

■SRO ticket : =standing-room-only ticket●立ち見 (の) チケット、立ち見券◆本来の意味は「満席(standing room only)の場合に発売される、立ち見用のチケット」。◆【参考】standing-room ticket

■SSSS : =Secondary Security Screening Selection●二次セキュリティー検査の対象者◆アメリカの空港を離着陸する飛行機の搭乗券にはSSSSと印字される場合がある。この搭乗券を持つ人は、原則として、通常よりも厳重なセキュリティーチェックを受けることになる。

■UX testing : =user experience testing●ユーザー体験 [エクスペリエンス] テスト◆製品の使いやすさ・問題点などについて、実際にユーザーに使ってもらって検証すること。

■YEC : =young-earth creationism●若い地球 (の) 創造論◆「世界は神によって創造された」という宗教的思想の一種。地球の年齢を(科学的な推定値と比べて)非常に小さく見積もるもの。例えば「世界は紀元前4000年頃生まれた」という主張。◆Young Earth Creationismと表記されることもある。◆【参考】old-earth creationism

■ZT : =zeitgeber time●《生物》ツァイトゲバー時間 [時刻・タイム] ◆同調因子 (例えば動物実験において、環境の明暗を変化させる時刻) を基準とする (経過) 時間。

例文集「例辞郎」

■Are you sure you want to know? : (あなたは) 本当に知りたいの? / 聞かない [知らない] 方がいいんじゃない? ◆【場面】ショッキングな事実・複雑な事情などについて。軽い気持ちで知ろうとしない方がいい。知りたいなら覚悟が必要。

■OK, will do. : オッケー、やっておきます。◆OK, I will do it. の略。相手から仕事などを依頼された時の返事として用いられる。

■Thanks a ton. : 本当にありがとう (ございます)。◆口語的。Thanks a lot [million]. ほど広く使われる言い方ではない。

■We are nearly there. {1} : もうすぐ着きますよ。 / もうすぐそこ。◆【場面】旅行・移動などの目的地に近づいた。例えば、車中で飽きてしまい「まだ着かないの?」と言い始めた子どもへの返答。

■We are nearly there. {2} : あと一歩です。◆【場面】目標などがもう少しで実現しそう。

■We've all been there. : 私たちの誰もが(一度は)体験することですね。／こういうことって、誰にでもあるよね。◆【参考】Been there, done that.

■What don't you like about it? : それに関して、何が好きではないですか? / (その)どこが好きじゃないの? / 嫌いな[好きでない]点は何ですか? ◆しばしば「好きな点は何か?」という質問(What do you like about it?)とペアで使われる。単体で使われた場合、「好きではないなんて、おかしい」という反論めいたニュアンスを持つことがある。

■When's the baby coming? {1} : 赤ちゃんはいつ来るの? / (出産の)ご予定日はいつですか? ◆【場面】妊婦に対する(無邪気な)質問。

■When's the baby coming? {2} : いつになったら赤ちゃんを作るの? / 子ども[赤ちゃん]はまだ? ◆【場面】無神経な友人・親戚などが、既婚女性などに尋ねる。「早く子どもを産んでほしい・産むのが当然だ」という趣旨。◆【類】When are you going to have kids?